干潟	干満差
河原	植被の状況、堆積物及び基盤の露出の状況
磯 浜	砕波の海岸線からの距離、飛砂の状況、沿岸流の方向
地すべり地	地すべりの記録、亀裂の状態、滑り面の性質、活動状況（方向及び規模）、植生等の被害状況
崩壊地	崩壊以前の推定地形、原面傾斜、崩壊面の方向及び傾斜
麓屑面	物質匍行の有無、背後の急斜面との関係、構成物質の状況、植被の状況、斜面の平均勾配
崖錐	植被の状況、構成物質の状況、斜面の平均勾配
火山泥流堆積地 土石流堆積地	堆積物質の状況、形状、起伏及び植被の状況
砂礫堆	比高、延長、幅
裸出砂丘 被覆砂丘	植被の状況、砂丘の形態及び移動の速さ、飛砂の状況
湿地	湿潤の程度、植生
泥炭地	堆積物質の状況
天井川	比高、幅
崖	比高、植被の状況
凹地・浅い谷	比高、形状、堆積物質の状況
岸欠壊	欠壊の速さ、崖の物質及び高さ、営力
遷移点	位置の点検、比高、河川の状態（瀬をなすか、滝をなすか）
傾斜変換線	上下斜面の傾斜角

別表第八

調　査　物　質	定　　義
火山岩屑	火山爆発により放出された砕屑物で火山灰砂礫の混合物
ローム	火山灰より風化生成した赤褐色泥土（軽石層を挟むものを含む。）
角石	長径20ミリメートル以上の角張つた石
円石	長径20ミリメートル以上の円磨された石
角礫	長径２ミリメートル以上20ミリメートル未満の角張つた礫
円礫	長径２ミリメートル以上20ミリメートル未満の円磨された礫
土	長径２ミリメートル未満の砂、シルト及び粘土

別表第九

記載すべき事項	記　載　す　べ　き　内　容
一　地形の概説	1　調査地域の位置、主な地形の配列及び地形の性質の概要（これを明らかにするための地質及び土壌の概要を含む。）並びに陸水の分布及び気候の一般概況 2　地学的特記事項（地盤沈下、地盤運動及び地震断層その他地形に顕著な関連のあるもの） 3　必要がある場合は、地体構造論及び地形発達史等
二　地形の細説	1　地形の大分類及び小分類ごとの性状及び分布。ただし、地形区（同一の性質を有すると認められる地形の区域をいう。以下同じ。）ごとの説明が必要な場合には、それぞれの地形区につき大分類及び小分類ごとの性状及び分布 2　人工改変地の区域を推定した場合及び自然地形の推定分類を行つた場合には、その根拠等（使用した資料の名称を含む。） 3　地形の分類の基礎となつた表面物質、露頭その他観察事項又は計測事項（写生、図表等により系統的に整理する。） 4　土地災害に関係ある地形については、その代表的なものの微細な観察、特性、災害規模及び原因等
三　地形と土地災害及び土地利用との関連	1　土地災害の歴史、分布、性質、頻度及び傾向 2　土地災害に関係ある地形面の開発及び保全の現況 3　地形と土地災害との関係 4　地形と土地利用との関係
四　河川表	主要河川名、延長、流域面積及び河床上昇の有無（上昇がある場合は、その場所及び理由）並びに流量の季節的変化（必要がある場合は、河川断面図を付するものとする。）
五　山地表	一団ごとに主要な峰の高度、峠の高度、火山又は非火山の別及び森林限界の高度並びに雪食の状態
六　災害表	冠水、地すべり、崩壊、岸欠壊、噴火又は大地震ごとにその主要な原因並びにこれらの場所、時期及び規模
七　面積表	調査地域内の地形大分類ごとの概略の総面積
八　使用した参考文献又は資料名	

附　則

この省令は公布の日から施行する。